



◆全部消えた... データ消失のリスク◆

さて、あなたの会社では業務データをどのように管理されていますか？

全部消えた... データ消失のリスク

ゲリラ豪雨や雷による一時的な停電、突発的な通信障害など、予期せぬアクシデントはどんな企業にも起こり得ます。

- ◇パソコンが突然シャットダウンした
- ◇ネットが半日止まり、業務も止まった
- ◇共有サーバーのデータが開けなくなった

そんなトラブルを一度は経験した、という企業も多いのではないのでしょうか。なかでも特にダメージが大きいのが、**データの消失や破損による業務停止**です。

「復旧に時間がかかり、納期に間に合わなかった…」
「お客様のファイルが消えて、謝罪対応に追われた…」

こうした事態は、顧客との信頼関係にヒビを入れかねません。データ管理は重要だとわかっていても、つい「後でやろう」「うちはまだ大丈夫」と優先順位を下げてしまうケースはよくあります。

日々の業務に追われていると、バックアップや復旧手順の見直しといった**緊急ではないが重要なこと**は、つい後回しになりがちです。

ですが、その「ちょっとした油断」が、取り返しのつかない事態を招きます。大きな災害でなくても、一瞬の停電や小さな通信障害が、会社の信用や顧客対応に深刻な影響を与える可能性は十分あるのです。

では、そのような事態を防ぐには、どのような備えが有効なのでしょう？

実際に、データ管理を徹底している企業は、以下のような取り組みを行なっているようです。

■クラウド保存を標準にする

ローカル保存に頼らず、Google DriveやDropboxなどクラウド上でデータ管理すれば、端末が壊れても復旧可能。

■自動バックアップを設定する

重要ファイルは、定期的に自動で別の場所にバックアップする。「うっかり消してしまった」も回避可能。

■通信障害に備えた代替手段を用意する

停電やネット障害時のために、モバイルルーターやスマホのテザリング設定を準備しておく。

■UPS(無停電電源装置)を導入する

一時的な停電の際にも、電源を維持して作業継続が可能。パソコンの強制終了を防ぎ、データ破損のリスクを下げる。
など。

会社のデータは、日々の業務を支える大切な資産です。だからこそ、何も起きていない今のうちにしっかりと備えておくことが大切です。まだ対策を始めている方も、できることから少しずつ見直してみたいはいかがでしょうか。

□■□

編集後記

□■□

今回は「データ消失のリスク」をテーマにお伝えしました。

思わぬトラブルで大事なデータを失うことがないように、早めに取り組みたいですね。

当社でも改めてバックアップ体制を見直し、万が一の時にも業務が止まらないよう、備えておこうと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

ご不明な点ございましたら、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

